



## ガバナーメッセージ

## 私のガバナー月信中締め

国際ロータリー第2750地区 2009-10年度 ガバナー 久邇 邦昭



英国でのこと、朝出勤するとタイピストがコーヒーを机迄持ってきてくれます。或る時、おかわりがほしくなると、ドアの手前にポットが置いてあるので、カップを持ってつぎに行こうとしたら、それは駄目、ドアをあけてタイピスト

を呼びなさいと云われ吃驚した事があります。メッセンジャー、クラーク、マネージャーという階級ははっきりあるのですね。

ロンドン等でパブに行った方もあるでしょう。一軒のパブに入口が二つあって、一方にジェントルメン、他方にパブと書いてある。我々がパブという入口から入ろうとすると駄目といわれる。仕切があるだけで飲み物や食べ物とは同じようですが。

又、レストランでうっかり手がすべってナイフかフォークを落したとしましょう。拾うのはわけないが、拾ってはいけない。ボーイかウェイトレスが拾うのにまかせなければならない。

それから、不思議に思った事の一つに、フランス、ドイツ、イタリー等革命や敗戦による退位などで王様のいない国でも侯爵や伯爵が沢山居て、お城に住んでいたり、館を観光客に開放している人、外交官、政治家等様々ですが、中にはポーランドからの亡命伯爵夫人が餓死していたという新聞記事もありましたが、総じてこうした階層は健在なのです。王様は貴族の中の強い人になるのだから当然と思いますが、結婚もこうした貴族同志とするのが一般的なようです。

日本で知り合いの或る大使のレセプションに呼ばれたとき、「日本にはハイツサイエティーがないのだ」と侮蔑的に云う若い外交官(と思う)の話を小耳にはさみました。

冷戦時代、日本に來たソ連の高官が、日本は全員中産階級と聞き、(必ずしもそうとは云えぬが、比較すればそうでしょう)それが我々の目指した事(出来なかったとのニュアンスで)なのだと云ったとか。

日本では戦後間もなく、財閥解体、皇族や華族のタイトル剥奪(天皇のみ利用価値ありとして残置)財産税課徴、不在地主から土地の収用等が抵抗なく唯々諸々で行われました。占領軍のジェネラルオフィスに共産主義者が多かったとも云われますが。

日本の最近の水平指向、出る釘は打たれる、小学校の運動会に順位をつけない、ゆとり教育とか、私にも理解し難い事です。競争のない所に進歩はない。但し、遅れた児には、又、WORKING POORとかその人のせいではなくて困窮している人にはそれなりの配慮、対応が必要でしょうが。

上記した事柄すべて日本は欧米の反対ですね。それから一寸違った性格のものですが、宗教について考えますと、アメリカ人はその約85%が自分はキリスト教徒だとの自覚をもっているとの調査があるようです。日本人は問われると無宗教と答える人が多い。又、それで得意になっている人?もいるようです。しかし欧米では、宗教を信じないと云うと無神論者と解釈される場合があり、道徳をわきまえない疑わしい人として飛行場で入国を拒否された例があると云います。こうした人の大半は特定の宗教を信じていない(He doesn't believe in any particular religion)のであって、無神論者(atheist)ではないのです。正月に初詣をし、七五三を祝い、お盆には墓参りをする人が無神論者の筈がない。信仰心の強弱はあるにしても。

以上、日本は欧米人にとってはよくわからない、一種不思議な国民と思われる面があるようです。必ずしもどちらがよいという事ではありませんが、よく話し合う事、それも率直に楽しい雰囲気の中で理解しあえる所迄、落とし所をみつける事だと思います。ロータリアンが率先して国内十萬弱の仲間が一体の理解の下に世界の平和に貢献して行きたいものです。

私はRI会長のモットーをふまえて、山に緑を、幼な児には躰をというテーマを唱えてきましたが、植林などの形で緑もふえそうですし、RIで、新世代活動の対象年齢を下げたearly actなる活動の創設を検討しているようで嬉しいことです。

さて、三本締めといきましょう。折から晩春、次の期が始まろうとしています。

春過ぎて夏来るらししろ たま白妙の

衣ふりつつ我は去りゆく

更に、

思いつつもなしとげ難き現し世の

仕えの道を我たどりゆく

詠み人しらず

一年にわたり私の拙文を読んで下さった方々に心からお礼を申し上げます。

## INDEX

<http://www.ri2750.org/>

◎ ガバナーメッセージ

◎ 寄付報告 / 文庫通信

◎ 『地区協議会2010』開催報告

◎ 出席報告 / 編集後記

2010-11年度 地区幹事 服部 陽子(東京広尾RC)

# My Governor's Monthly Letter Break

Rotary International District 2750  
2009-10 District Governor Kuniaki KUNI

In England, when I came to my office in the morning, the typist brought a cup of coffee to me. Some day when I wanted another cup of coffee and went to pour the coffee at the coffee pot at the door, I was surprised that someone told me you didn't do it and asked to your typist to do it. They had definitely classes such as a messenger, clerk, and manager and so on.

Somebody has used to visit a pub in London, etc. There two doors at one pub, one is printed as 'Gentlemen' and another is as 'Pub'. When we went into from the 'Pub' door, somebody told you not to use it. It is same service as drink and mal to us only by the curtain.

And you carelessly dropped the fork and knife on the floor. It is easy to pick them up, but you don't need to do it. You left him/her to do it.

And then what I feel strange is that there were so many marquises and counts in the countries without king such as France, Germany, Italy, etc by the revolution and the loss of battle that used to live in the castle, open the house for tourist, be diplomat, be politician, etc. The newspaper told that some of them who were countesses exiled themselves from Poland starved, but in general these classes were still in good health. I think that the king was properly assigned from these strong noblemen and the marriage was done between each member of the nobility.

When I was invited to join the reception of any ambassador who was an acquaintance in Japan, I happened to hear that a young diploma, I thought, told there was no high society in Japan.

During a cold war, when a high official of the Soviet Union who came to Japan heard that all of Japanese were in the middle class, that was not, but it was true to compare it, he mentioned the Soviet Union aimed to do it that they couldn't have done it.

Soon after the World War II in Japan, we had the dissolution of the zaibatsu(industrial conglomerate), deprivation of title of the imperial family and the nobility instead of the emperor that was valuable to use, property tax surcharge, condemnation of the land from absent landowner to obey blindly without resistance. It was said that there were many communists at the general office of army of occupation

I also can not understand the Japanese recent horizontal direction such as the nail that sticks up gets beaten down, no place of the elementary field day, less strenuous school education and so on. There are no progresses without competition. But we need to correspond and consider some persons who were mentally retarded, working poor and distressed without their reasons.

All of above matters in Japan are totally opposite from the West. From some different aspect when I think of the religion, the investigation examines about 85% of the Americans realize that they are Christians. On the examination for Japanese, they answer for it they have no religions. And some of them have any prides for it, don't they. But in the West they recognize you are atheists when you said you don't believe the religion and sometimes were used to deny immigrating at the airport as unreasonable and doubtful persons. A half of these persons are that they don't believe in any particular religion and are not atheists. Some person who pay a visit to a shrine on New Year's Day, celebrate the festival day for children aged seven, five and three and visit a respect at grave at the Bon Festival are not ought to be atheists. That are dependent on the strength and weakness of the religion.

The above explains that the Western people can not understand Japan and seem Japanese nation look like strange. We can not necessarily say which is better, but we have to talk a lot with them until we mutually and frankly understand on the pleasant environment and we have to find the settlement each other. We, less than one hundred thousands Rotarians initiatively have to contribute the world peace.

I have recited the theme 'Make green on the mountain and disciplined to infant' on a basis of RI President's motto, but the green will be increased by foresting and I am so happy that the RI is now planning to create the activity as 'early act' that lower the targeted age of new generation activity.

By the way, let's make a simplified manner of the original 3 sets of 3-3-7 claps now. The new Rotary year starts as it is just late in spring.

<tanka(poem)>

'Spring is over, summer comes and I am now leaving as I wave whitish cloth',

and

'I am thinking not to carry out during my life and follow a path of my serve, but the writer does not know it'

I am now expressing my sincere thanks to all of our Rotarians to read my message over one year.



## ～2010—11年度に向けて～

2010年5月11日（火）、「ホテルオークラ東京」に於いて、『地区協議会2010』が開催されました。地区内各クラブから会長を初めとする次年度を担うクラブ指導者の皆様615名が参加、それに地区役員、地区委員長106名を加え、合計721名の登録という大規模なスケールで、次年度へ向けての準備の会が行われました。

午前9時30分、辰野ガバナー・エレクトの点鐘で、「平安の間」において全体会議が始まりました。最初に辰野克彦ガバナー・エレクトのご挨拶があり、ホスト・クラブにあたる東京西ロータリークラブ郡 正直会長が歓迎のお言葉を述べられました。続いて辰野克彦ガバナー・エレクトの「国際協議会報告」がありました。RI会長エレクト、レイ・クリンギンスミス氏の発表された次年度のRIテーマは、「**地域を育み、大陸をつなぐ**」**Building Communities Bridging Continents**です。次年度のRI会長強調事項は、①ポリオ撲滅、②青少年プログラム、③人道的プログラム の3点です。続いて、辰野ガバナー・エレクトは地区運営の方針を話され、①クラブ中心、地区はその支援 ②地区の簡素化、の2点を挙げられ、クラブの支援に徹底する地区のあり方を強調されました。また、次年度地区の強調事項である、①クラブにおける長期計画の立案と推進 ②『クラブ合同奉仕プロジェクト』の支援 についてご説明をされました。さらに会員基盤強化の重要性、ロータリー財団、米山記念奨学会への支援目標を示されました。次に谷島 昶研修リーダーが「次年度にむけて」と題し、クラブが「効果的なクラブ」作りを行っていくことのキーが何である



かをご説明なさいました。これに続き、2010年規定審議会代表議員を務められた川尻政輝バスター・ガバナーより4月24日よりシカゴで行われた規定審議会のご報告がありました。規定審議会はRIの組織規定を改正する権限をもつ立法機関ですが、今回は「これまでの4大奉仕部門に新たに新世代奉仕が加わり5大奉仕部門とする」件、クラブに『研修・リーダーシップ委員会』を設置する」件、「1地区に2クラブのEクラブを設置する」件などの提案が採決されたとのことでした。

引き続き、相田征一国際大会推進委員長より2011年5月22日よりニューオリンズで行われる「2011国際大会」への参加の呼びかけがあり、午前の部は終了となりました。

昼食後、午後1時から2時間半に亘って、7つの分科会に分かれての協議会が行われました。従来「会長・会員増強部会」は一つの部会として行われてきましたが、今回は分科会Aを「会長・幹事部会」（鬼島弘明リーダー）、分科会Bを「会員部会」（新藤信之リーダー）として2つの分科会に分けました。分科会Cは「広報部会」（水野雅生リーダー）、分科会Dは「新世代部会」（熊野隆喜リーダー）、分科会Eは「奉仕プロジェクト部会」（御手洗美智子リーダー）、分科会F「ロータリー財団部会」（福井 衛リーダー）分科会Gは「米山記念奨学部会」（杉本當正リーダー）で、それぞれに中身の濃い話し合いが行われました。

分科会終了後は全体会議に戻り、各分科会よりまとめの報告が行われました。最後に谷島 昶研修リーダーより講評のお言葉をいただき、午後5時、辰野ガバナー・エレクトの点鐘で『地区協議会2011』は幕を降ろしました。朝から夕方までの長時間のプログラムにご参加くださったクラブの皆様、分科会をリードくださった分科会リーダー、サブリーダーの皆様、この協議会を支えてくださったホスト・クラブである東京西ロータリークラブ会員の皆様に心よりの感謝を申し上げます。クラブの次期指導者の皆様が本日の協議会で得た糧を各クラブにお持ち帰りになり、クラブの皆様と十分な準備を尽くされて、地区内すべてのクラブが7月から始まる新年度のよきスタートを切られますことを祈願して、ご報告とさせていただきます。



分科会の様子



全体会議

## 米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

### ■ 米山功労者

三浦 仁君	東京銀座	2010.4.8	4
本橋 浩一君	東京中央	2010.4.13	10
則定 衛君	東京日本橋	2010.4.14	6
湖山 泰成君	東京銀座新	2010.4.15	6
牛田 英郎君	東京シティ日本橋	2010.4.19	4
河村 美德君	東京恵比寿	2010.4.22	1
古屋 文男君	東京杉並	2010.4.27	25
伊藤 英也君	東京多摩グリーン	2010.4.30	3
久邇 邦昭君	東京南	2010.4.30	4
志野与志野君	東京飛火野	2010.4.30	1

## ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチブル

ご協力を感謝いたします

◎ 塚原 裕君	東京銀座	2010.4.16
関 博子君	東京世田谷中央	2010.4.16
◎ 長坂 玲君	東京中央新	2010.4.23
◎ 坂口美代子君	東京中央新	2010.4.23
◎ 伊藤 英也君	東京多摩グリーン	2010.4.23
◎ 宮本 誠君	東京多摩グリーン	2010.4.23
◎ 朝倉 昭君	東京大井	2010.4.30
◎ 板敷 歡成君	東京田園調布緑	2010.4.30
◎ 杉浦 誠君	東京田園調布緑	2010.4.30
原島 敬之君	東京調布	2010.4.30
村田 功君	東京調布	2010.4.30
植松 佐内	東京調布	2010.4.30

## 新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

塚本 利光君	東京京浜	2010.4.16
樽本 泰知君	東京新橋	2010.4.23
細野 征男君	東京みなと	2010.4.23
斉藤 司享君	東京田園調布緑	2010.4.30

## 文庫通信 (272号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

### ロータリー情報

#### ◎ 「ロータリー財団未来の夢計画」

田中作次 2010 3p  
(第38回ロータリー研究会報告書)

#### ◎ 「RI 5カ年財政計画」

黒田正宏 2009 4p  
(第38回ロータリー研究会報告書)

#### ◎ 「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」

渡辺好政 2010 14p (D. 2710月信)

#### ◎ 「今 ロータリーが忘れていた事」

森 三郎 1999 16p  
(関西ロータリー研究会第55回例会記録)

#### ◎ 「ロータリーの魅力と職業奉仕について」

成川守彦 2010 43p  
(D. 2770職業奉仕研究会)

#### ◎ 「私にとってのロータリーの楽しみ方 (パネルディスカッション)」

岩本 忠 (コーディネーター) 2009 10p  
(D. 2630地区大会)

#### ◎ 「ロータリー簡単図解 〈年表とロータリーの考えの変遷その1〜3〉」

鈴木章夫 2009 3p (D. 2520月信)

#### ◎ 「各クラブが行っている活性化アイデア一覧」

D. 2720 2010 4p (D. 2720月信)

### 上記申込先：ロータリー文庫

(コピー/PDF)



〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



# ★国際ロータリー第2750地区出席報告（4月分）★ District 2750 Membership Attendance Report April 2010

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				09年7月1日	10年4月末	増減					09年7月1日	10年4月末	増減
千代田グループ	東 京 南	4	80.06	173	174	1	多摩南グループ	東 京 八 王 子	4	84.34	60	62	2
	東 京 芝	4	92.53	89	94	5		東 京 町 田	4	74.09	55	54	-1
	東 京 新 橋	4	81.17	54	52	-2		東 京 日 野	4	74.18	41	40	-1
	東 京 赤 坂	2	75.20	47	47	0		東 京 八 王 子 西	4	82.78	69	73	4
	東 京 み な と	4	84.80	50	51	1		東 京 町 田 ・ 中	4	87.38	38	38	0
	東京レインボー	4	83.72	41	42	1		東 京 八 王 子 東	3	88.88	28	27	-1
	東 京 麻 布	4	73.50	21	23	2		東 京 八 王 子 南	3	94.23	56	54	-2
銀座・日本橋グループ	東 京 銀 座	4	77.07	159	157	-2	多摩中グループ	東京町田サルビア	4	79.27	25	23	-2
	東 京 日 本 橋	4	82.79	176	183	7		東 京 飛 火 野	4	74.03	30	31	1
	東 京 築 地	4	81.82	62	66	4		東 京 町 田 東	4	68.75	29	29	0
	東 京 日 本 橋 東	3	81.17	54	52	-2		東 京 八 王 子 北	4	79.84	31	32	1
	東 京 中 央	4	78.66	230	242	12		東 京 立 川	4	96.49	89	99	10
	東 京 日 本 橋 西	3	88.87	48	46	-2		東 京 小 金 井	4	94.11	31	30	-1
	東 京 銀 座 新	4	83.09	74	73	-1		東 京 国 分 寺	4	89.56	50	48	-2
京浜グループ	東京シティ日本橋	4	76.56	49	51	2	多摩東グループ	東 京 三 鷹	4	80.00	42	41	-1
	東 京 中 央 新	4	69.35	37	39	2		東 京 昭 島	4	83.63	48	53	5
	東 京 羽 田	4	80.01	44	44	0		東 京 国 立	4	98.50	51	54	3
	東 京 大 森	4	92.36	53	49	-4		東京立川こぶし	4	87.37	81	81	0
	東 京 品 川 中 央	5	87.00	56	57	1		東 京 井 の 頭	4	89.30	25	27	2
	東京田園調布	4	86.50	49	47	-2		東京昭島中央	4	70.00	39	43	4
	東 京 蒲 田	3	95.19	59	61	2		東京武蔵国分寺	3	82.73	52	49	-3
山の手東グループ	東京田園調布緑	4	80.46	23	25	2	バシフィック・パシフィック・グループ	東京小金井さくら	4	76.14	21	22	1
	東 京 品 川	4	86.50	66	67	1		東京国立うめ	4	77.91	21	20	-1
	東 京 大 井	4	77.50	19	20	1		東 京 府 中	4	81.86	64	63	-1
	東 京 港 南	3	66.67	19	19	0		東 京 調 布	4	88.93	64	61	-3
	東 京 大 崎	4	88.72	36	39	3		東 京 多 摩	4	74.34	23	24	1
	東 京 浜 浜	3	80.15	23	23	0		東 京 狛 江	4	89.87	32	30	-2
	東 京 マ リ ー ン	4	71.25	20	20	0		東 京 稲 城	4	69.22	32	33	1
山の手西グループ	東 京 白 金	5	84.60	31	30	-1	国内83クラブ計	東 京 武 蔵 府 中	4	77.14	55	58	3
	東 京 高 輪	2	84.00	29	30	1		東京たまがわ	4	77.62	25	26	1
	東 京 西	4	84.87	151	154	3		東京多摩グリーン	4	74.43	36	36	0
	東 京 城 西	3	74.68	76	77	1		東京調布むらさき	4	82.54	82	83	1
	東 京 西 南	3	74.08	55	53	-2		Guam	5	48.00	76	70	-6
	東 京 原 宿	4	74.68	29	29	0		Saipan	5	71.88	44	41	-3
	東 京 杉 並	4	75.54	40	41	1		Tumon Bay	4	41.27	94	89	-5
山の手西グループ	東 京 神 宮	3	77.78	35	32	-3	地区91クラブ計	Northern Guam		—	35	35	0
	東 京 恵 比 寿	3	71.60	94	97	3		Pohnpei		—	20	19	-1
	東 京 広 尾	4	80.44	24	23	-1		Palau	4	75.00	15	16	1
	東 京 渋谷	4	70.83	39	40	1		Guam-Sunrise	4	48.00	31	33	2
	東 京 六 本 木	4	73.00	52	51	-1		Truk Lagoon	4	87.00	12	13	1
	東 京 世 田 谷	2	89.20	61	60	-1		千代田グループ	81.57	多摩南グループ	80.71		
	東 京 目 黒	4	70.16	49	45	-4		銀座・日本橋グループ	79.93	多摩中グループ	85.48		
山の手西グループ	東 京 成 城	4	86.05	24	24	0		京浜グループ	82.92	多摩東グループ	79.55		
	東京世田谷南	3	83.00	94	91	-3		山の手東グループ	75.75	PBグループ	—		
	東 京 城 南	2	70.00	27	33	6		山の手西グループ	79.14				
	東 京 山 の 手	3	80.00	67	67	0							
	東 京 成 城 新	5	72.60	38	35	-3							
	東 京 青 山	4	80.40	33	34	1							
	東京自由が丘	4	90.05	18	21	3							
山の手西グループ	東京世田谷中央	4	74.04	29	28	-1	平均出席率				80.83		
	東 京 米 山 友 愛	3	75.00	—	24	24					(PBGを除く)		

※ PBグループの出席率については、5月25日現在未着です。次号に掲載予定です。

## 編集後記

昨年6月に前任の森本前委員長から7月号の編集を引き継いでから、あっという間に1年が経ってしまいました。久邇年度の最終となる6月号編集の委員会が終わったところです。月信では例年と一味違った久邇ガバナーのメッセージを伝え、地区ホームページでは地区の委員会やクラブの活発な活動を報告して

きましたが、いかがでしたでしょうか。来月は辰野年度の最初となる7月号の編集になりますので、以後は堀口次年度委員長にバトンを渡したいと存じます。

この1年間、ご協力有難うございました。今後とも引続きガバナー月信・IT委員会に皆様のご協力をお願い致します。

2009-10年度ガバナー月信・IT委員会 委員長 田辺 克彦（東京南RC）

国際ロータリー第2750地区 2009-10年 ガバナー 久邇 邦昭

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2009-10 Governor Kuniaki Kuni

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 久邇 邦昭(2009-10) © Kuniaki Kuni 2010

編集・制作：ガバナー月信・IT 委員会委員長 田辺 克彦 副委員長(ガバナー月信担当) 成吉 徳

中野 博義 Andrew WONG 木村 清信 松田 美房 竹平時彦 堀口昇治 森本 行俊 浅見 省三 河村 勝久 坂場 一隆 渡邊 卓美

ガバナー月信・IT 委員会副委員長(IT 担当): 山見 真弘

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>